

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 代謝制御型薬物送達技術に基づく次世代医療モダリティの革新と創出
2. 研究代表者： 野本 貴大（東京大学 大学院総合文化研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、中性子などの外部エネルギーを利用してがんを超低侵襲で選択的に治療する技術と、第 5 のがん治療法の適用範囲を大幅に拡大する薬剤を開発し、多様ながん治療ができる革新的医療技術の創出を目指す研究である。

フェーズ 1 は、4 つの目標を掲げ、それぞれ新しいコンセプトのもと、緻密な研究により世界初の成果を創出するなど着実に高いレベルで成果があげられていることは高く評価できる。論文発表、特許出願などの成果も見られる。

フェーズ 2 は、新しい切口で標的分子を設定し、オリジナリティの高い DDS 開発を目指しており、評価できる。腫瘍細胞への集積、全身循環からの排除、局所でのリリースの制御は実現性が高い。また、実用化に向けた技術開発を進める内容となっており、成果が期待される。

以上